

# 「指導と評価の一体化」を実現

～リーディング・スクールの実践から～

## 「学習評価」の悩み解決のヒントに!



「評価したことを指導に生かす」って具体的に  
どういうこと?

👉 **ポイント①へ!**

こんな疑問・悩みは  
ありませんか?

評価を記録に残すのは、時間と労力がかかり大変だ。

👉 **ポイント②へ!**

「主体的に学習に取り組む態度」は、どのように見取ったらいいの?

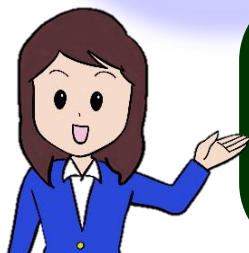
👉 **ポイント③へ!**

テスト以外の方法でどのように評価したらいいの?

👉 **ポイント④へ!**

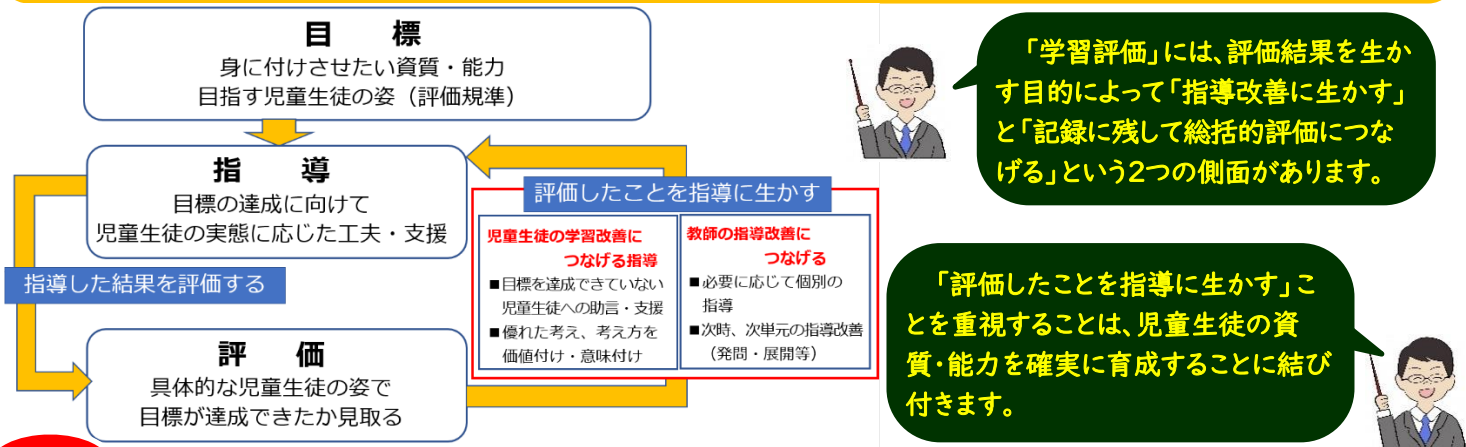


本資料で紹介しているリーディング・  
スクールの実践は、一部です。実践の  
内容が詳しく分かるこちらの資料も  
ぜひ参考にしてください!



# ポイント① 「評価したことを指導に生かす」って具体的にどういうこと？

◆ 児童生徒に資質・能力を確実に育むために、授業の中で一人一人の児童生徒をよく観察し、学習の状況を見取り(評価し)、指導に生かしていく。



**ポイント**

評価したことが「教師の指導改善」や「児童生徒の学習改善」に結び付くようにする。

「評価したことを指導に生かす」には、次の2つの側面があります。

- ① 単元や本時の目標を達成するために、児童生徒の学習の状況を見取り、目標を達成できていない児童生徒に必要な指導を行ったり、優れた考えや考え方を価値付け・意味付けしたりして児童生徒に即時的にフィードバックする。
- ② 教師の指導の在り方を振り返り、次の時間、次の単元等の指導改善につなげる。

# ポイント② 評価を記録に残すのは、時間と労力がかかり大変だ。

- (1) 持続可能な「指導と評価の計画」を作成する。
- (2) ICTの活用等、効果的・効率的な評価方法を取り入れる。

## (1) 持続可能な「指導と評価の計画」を作成

(高山市立日枝中学校)

第3学年 2章「平方根」各授業時間の指導のねらい、生徒の学習活動及び重点、評価方法・

【本単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数の平方根の必要性と意味を理解している。 ②有理数、無理数の意味を理解している。 ③数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ④具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。	①これまでに学んだ文字式の計算など補助線付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ②数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	①数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ②数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

【本単元における指導と評価の一体化の在り方】～生徒が働かせる数学的な見方・考え方や、そのよき捉えについて～

時	ねらい・学習活動	働かせる見方・考え方	評価	指導	○記録
1	方根を使って表した正方形には、1辺の長さが整数でない場合があることを理解することができる。	単位の考え、「 $\sqrt{2}$ 」のつく方根を扱うこと	知① 主①	行動観察 ・リフレクションシート記述	○記録
2	2乗して2になる数は、かぎりなく続く小数であり、根号を使って表すことを理解することができる。	単純化の考え方 「 $2$ 乗して2になる数を $\sqrt{2}$ と表すと」	知①	行動観察 ・リフレクションシート記述	○記録
3	平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めらるることができる。	数値化の考え方 「根号の中が2乗の数になっているときは $\sqrt{\quad}$ 」	知① 主①	行動観察 ・リフレクションシート記述	○記録
4	平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。	数量化・図形化の考え方 「面積で考えると」	知① 主①	行動観察 ・リフレクションシート記述	○記録
5	有理数、無理数の意味を理解し、これらで学んだ数を有理数と無理数に分類することができる。	単位の考え 「 $\sqrt{2}$ 」のつく方根を扱うこと	知① 主①	行動観察 ・リフレクションシート記述	○記録

毎時間、全員の評価を記録に残すのではなく、第4時(○囲み部分)を「評価したことを記録に残す」時間として意図的に計画しています。

**ポイント**

「評価したことを記録に残す場面」を精選する。

評価規準としている児童生徒の姿が単元の中で最も表れやすい時間(場面)を精選し、記録に残す時間として設定します。その際、なぜその時間に設定したのか意図を説明できることが大切です。

## (2) ICTを評価に活用

(関ヶ原町立関ヶ原小学校)

□ は評価問題 New!GIFU ウェブラーニングの帳票

7	3時間目 P127	4時間目 P128	5・6時間目 P129~131
B B 0 4	B J 0 2	B J 0 6	B J 1 0
0 ・ 2 ・ 4 で 3 桁 の 数	5 色 か ら 2 色 も も と ト	4 つ の 店 か ら 3 つ ま わ り	5 0 0 円 玉 を 4 回 投 げ た ト
?	?	?	?

○:正解 ◆:やり直して正解 ? :誤答

第5時の評価問題で「?」が付いている児童は、第6時でもつまづくことが予想されたため、この児童に必要な指導を行いました。

学習ログとして蓄積された客観的なデータを学習状況の見取りに活用し、適切な指導につなげています。

# ポイント③ 「主体的に学習に取り組む態度」は、どのように見取つたらいいの？

- (1) 児童生徒が課題解決への予想や見通しを立てたり、解決方法を選択したりした上で、その学びの過程や達成状況を振り返ることができるようにするなど、児童生徒の内面の変化が表出される場面を適切な時期に設定する。
- (2) 自ら学ぼうとする学びの過程の姿を捉え、児童生徒が学びの確かさを自覚し、新たな学びにつなげることができるように即時的にフィードバックする。

## (1) 児童生徒の内面の変化が表出される。

- ◆生徒自身が選択する場面を取り入れる。  
(美濃市立美濃中学校)

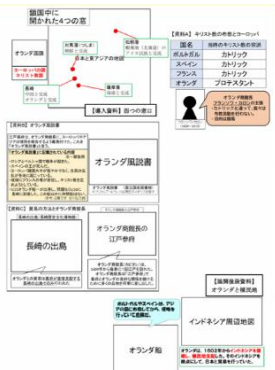
### 実践 1

#### ①資料の自己選択

いくつかの資料を  
タブレットに配付

必要な資料の選択

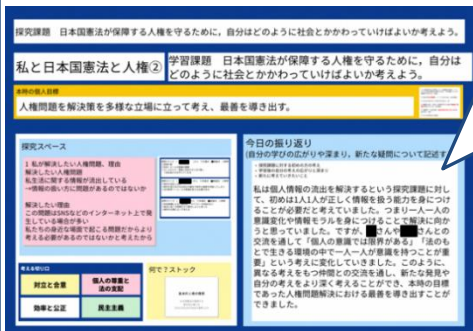
主体的な学び  
自分の考えをもつ根拠



個別追究の場で、生徒が複数の資料をタブレット上で見ることができるようになりました。

生徒は、自分の立てた見通しを基に調べたい資料を選択し、課題を追究しました。

- ◆振り返りで学びの過程を言語化できるようにする。  
(岐阜市立加納中学校)



振り返りに次の3点を記述するよう指導しました。

- ①初めの自分の考え
- ②誰のどんな意見から変容したか
- ③探究課題に対する新たな考えや問い

社会科の実践では、学習カードを作成し、記述内容から生徒の主体性を見取り、指導に生かしました。

振り返りのスペースには、「何を振り返るのか」指導したことで、生徒の学びの過程を言語化することができました。

振り返りの場合は、予想や見通しとセットで設定し、「何を振り返るのか」意図的に問いかけて表現させることが大切です。

#### ポイント

「粘り強さ」と「学びの調整」の視点から見取る。

「粘り強く学習に取り組もうとしているかどうか」、課題解決に向けて試行錯誤する等の「調整をしながら学ぼうとしているかどうか」という意思的な側面を見取ります。

## (2) 新たな学びにつなぐフィードバック。

- ◆見取る視点を具体化し、適切にフィードバックする。  
(岐阜市立加納小学校)

### 学習評価の充実による効果 ～学級活動～

岐阜市立加納小学校

多面的な児童理解  
↓  
指導内容の重点化

多面的な児童理解 (診断的評価)

内容のまとめり、他教科、日常生活等における児童の実態を多面的・総合的に評価することが指導内容の重点化につながる。

見届ける視点の明確化  
↓  
指導・援助の具体化

一連の活動の中での評価

事前の活動(内容のまとめりにおける前題材も含む)での評価を基に、本時の指導・援助を具体化することができる。事後の活動における見届けと価値付けまで一連の営みにつながる。

適切なフィードバック  
↓  
自己評価力の向上

適切なフィードバックにつながる評価

各学習過程での「見届ける視点」と「評価場面」「評価方法」を具体化することで、教師の評価が適切にフィードバックされ、自己評価力の向上へつなげることができる。

評価規準から見取る視点を具体的にして学習状況を適切に見取り、即時的にフィードバックして児童の学習改善につなげました。



見取る視点がはっきりしていれば、学習状況を即座に判断、評価し、即時的に児童生徒にフィードバックすることができます。

- ◆即時的に価値付け、次につなぐ。

(中津川市立南小学校)

### 成果

#### <視点1に関わって>

- 既習事項との繋がりを意識した導入を行うことができた。
- 課題をしっかりと理解させたことで、本時の学習活動に対する見通しをもたせることができた。(できそう!)

#### <視点2に関わって>

- 教師の問いかけが児童の思いや考えを言語化させる手助けとなっていた。
- 自分の思いや考えを表現できた児童の姿をすかさず価値付け、即時的フィードバックを行うことができた。(これでいいんだ!)

音楽科の実践では、目標を達成できている姿を見逃さず、その場で即時的に価値付け、フィードバックできたことで、「これでいいんだ!」と児童は自信をもつことができました。

#### ポイント

よい点や進歩の状況などを積極的に評価する。

自ら学ぼうとする態度は、発揮させてほめて高めることが大切です。ほめられることによって児童生徒自身がその値打ちを感じ、自ら学びをコントロールしようとする態度が育成されていきます。

## ポイント④

# テスト以外の方法でどのように評価したらいいの？

- ◆ ICT等の活用により、見えにくいものを見えるように工夫して見取る。
- ◆ 「妥当性」「信頼性」の視点から各観点の趣旨に応じて適切な評価の方法を考えていくことが必要。

### 動画

(高山市立日枝中学校)

思考・判断・表現 → 定期テスト、レポート作成や表現活動など



動画機能でスピーチ

ICT機器を活用し、到達度を評価し、記録に残す

### レポート作成

(可児市立西可児中学校)

重点メニュー 「評価活動」

教師にとっての「見える化」  
生徒にとっての「見える化」

自己の姿容  
思考の姿容  
評価方法  
学習状況

実践例

<数学>

授業の終末に 授業支援ツールを用いて・・・

- ① 評価テスト
- ② 本時の学びの確認 (デジタル教科書からの切り取り)
- ③ 授業のまとめ作り

①～③を評価、返却  
①により、客観的&即時評価  
②、③より生徒の理解度、定着度を確かめる

「思考・判断・表現」の観点における到達度を見取るために、ICT機器を利用してレポートを作成したり、スピーチ動画を作成したりするなどの実践を行いました。

数学科では、デジタル教科書を活用して本時の学習の定着度を図る問題を出題し、回答を授業支援ツールで提出させ、学習状況を見取りました。正答率が低い場合には、次時の最初に復習や解説をし、内容の定着を図りました。

## ポイント

### 資質・能力を評価する着眼点をもつ。

「知識・技能」は身に付いたか(習得したか)どうか、「思考・判断・表現」は、身に付けた知識や技能を發揮しているかどうか、「主体的に学習に取り組む態度」は児童生徒が自ら学ぼうとしているかどうかに着目します。

『できる評価・続けられる評価』 澤井陽介 著 (東洋館出版社)より

ノートの記述内容や授業中の発言、教師による行動観察、パフォーマンス評価など多様な評価方法で見取ることが大切です。



## 令和5～7年度 「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業

### 令和5年度 リーディング・スクール

岐阜市立加納小学校

岐阜市立加納中学校

関ヶ原町立関ヶ原小学校

美濃市立美濃中学校

中津川市立南小学校

可児市立西可児中学校

高山市立日枝中学校

## 令和5年度 「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業実践報告

### 「指導と評価の一体化」を実現

～リーディング・スクールの実践から～

令和6年3月 発行

編集・発行 岐阜県教育委員会 義務教育課